



Press Release

2021年2月5日

報道関係者各位

会 社 名 第一三共株式会社
代 表 者 代表取締役社長 眞鍋 淳
(コード番号 4568 東証第1部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 大沼 純一
TEL 03-6225-1126

アストラゼネカの新型コロナウイルスワクチンに関する 製造委受託契約締結について

第一三共株式会社（本社：東京都中央区、以下「当社」）は、アストラゼネカ株式会社（本社：大阪市北区、以下「アストラゼネカ」）との間で、同社が開発中の新型コロナウイルスワクチン AZD1222（以下「本ワクチン」）について、国内での製剤化を受託するための製造委受託契約（以下「本契約」）を締結しましたので、お知らせいたします。

当社は、アストラゼネカが日本政府と合意済みの本ワクチンの国内製造・供給スキームの一部を担うべく、本契約に基づき、アストラゼネカから提供された原液を用いて本ワクチンの国内における製剤化（バイアル充填、包装等を含む）を行います。

なお、当該製剤化は、当社子会社の第一三共バイオテック株式会社（本社：埼玉県北本市）が「新型インフルエンザワクチン開発・生産体制整備事業」の設備を活用して実施いたします。

当社は、COVID-19 流行の早期終息による社会の安心・安全の回復に向けて、現在実施中の mRNA ワクチン（DS-5670）やナファモスタット吸入製剤（DS-2319）の研究開発を推進するとともに、本ワクチンの国内安定供給に取り組んでまいります。

以 上